学びの基盤となる【読書】



【読書】キャラクター「おっほん」

・学習/情報センター年間を通じて
・北都中読書週間実施期間
【11／10～11／20】

札幌らしい特色ある学校教育

おっほんシート

札幌市立北都中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

Ⅰ 朝読書活動、学級文庫・保健室への図書配置

北都中では、毎朝学活前の 10 分間、全学年で朝読書を行っています。図書館、学級文庫には朝読書用に短時間でも楽しめる本を用意しており、利用者も多く好評です。学級文庫には、読みやすい本だけでなく、中学生の進路関連、文豪の作品、シリーズ物の１作目、人気のミステリーなどを配置することで、続編をもとめて図書館への来館を促す選書をしています。また、養護教諭との情報交換や協力を得て保健室にも本を配置、読書環境を広げています。

Ⅱ 図書局員の積極的な読書推進活動

POP コンテスト、ホクフェス開催

図書局員のおすすめ本 POP を作成し、全校生徒にも呼びかけコンテストを開催。POP を作った本のコーナー展示を作成しています。また、ホクフェス(北都中読書週間）を開催しおりプレゼントの企画で、貸出を呼びかけています。



ホクフェスでにぎわう貸出

学習センターとしての機能

Ⅰ１学年の図書館オリエンテーション

国語の先生と連携し、年度初めに１学年の授業の中で図書館オリエンテーションを全クラス毎に実施。学校図書館の配架ルールを説明し、自分で必要な本を探せる力を身につけると共に、図書館にあるいろんな本を目にし、手に取ってもらう機会を作っています。図書館が４階にあるので、４階に１学年の教室があることのアドバンテージを活かし、１年の間に図書館利用が学校生活の中に位置づけられるよう、今後もこの取組を継続したいものです。

Ⅱ 支援学級との連携

毎年、支援学級の総合授業の中に、図書館での読書の時間を位置づけることで、図書館で読書に親しみ、いろんな本に触れる時間を大切にしています。教室の移動、担任以外の大人・司書との交流も６組さんの経験の一つとなっています。





年度当初は挨拶を交わしにくい状況もありましたが、２学期になると、おすすめ本を聞いてくれたり、貸出を楽しみする様子も見られ、嬉しく思います。

情報センターとしての機能

総合学習で２学年は近隣の職場体験を行いましたが、事前に図書館で職業本を読む姿が見られ、真剣に取り組もうという意識が感じられました。北都中図書館には「～になるには」などの職業本コーナーが設置されています。これからもどんどん活用していってほしいです。

３学年も、『「文系？」「理系？」に迷ったら読む本』『高校調べ：高等専門学校、工業科高校、家庭科高校』などの学校調べ本などを読んで自分の進路を模索したり、受験に向けて具体的な勉強対策、面接対策の本を読んだりと、進路を考える上で図書を活用する姿が見られました。

今後も、校内の学習の進捗状況を把握し、ほしいときにほしい情報を提供できるよう務めます。



職業体験前よく読まれる「～なるには」シリーズ

大人気の進路調本べ本

